

笑顔と誇りを未来へつなぐまち 飯南

IINAN

未来
つなぐ
誇り
ます
飯南町

い-なん

2026

1

No.253

特集 令和8年 年頭あいさつ



真っ白な雪山、一緒に滑ろう



令和8年

年頭あいさつ

新年明けまして
おめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町政の推進につきまして、温かいご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昨年は、これまで町内社会福祉法人と一緒に検討を進めてきた「特別養護老人ホームの統合」について、建設予定地の造成工事に着手しました。場所は、飯南病院に近い寺沢地区に整備することとし、本年8月末の造成工事完成に向けて取り組んでいます。

また、社会福祉法人により新たに建設される施設については、本年秋頃の着工予定ですが、将来に渡って持続可能な運営ができるよう、人員体制も含めた建設計画が進められ

ているところであります。

また、昨年12月22日には、滞在型地域交流拠点施設「三日市NODE」が、来島連坦地内に完成しました。

この施設は、飯南高校生が生命地域学など、町民の皆様と交流する中で学びを深めていくための施設であり、「高校生と住民との結び目となる存在」という、意味が込められています。

今後は、これまで以上に飯南高校の生徒募集にも力を入れ、住民と高校生との交流が促進されることにより、まちの活性化に繋がることに期待しています。

さて、昨年は長引く物価高騰の影響により、町民の皆様や事業者の皆様も大変ご苦労されたものと感じ

います。

物価高騰に加え、最低賃金引き上げによる人件費の上昇など、厳しい状況は続いています。事業者の皆様と一緒に、本町の産業や医療福祉をしっかり守っていきたいと考えています。

本年は、現在進めている教育環境基本計画や保育所のあり方、観光交流施設の検討など、今後のまちの方向性を決定する重要な課題にも取り組んでいかなければなりません。

また、少子高齢化が深刻化する中で、本町の基幹産業である農業振興にも力を入れ、新規就農者の育成や農業の担い手確保にも努めていきたいと考えています。

第3次総合振興計画に掲げる施策を着実に進めていくことで、町民の皆様がいつでも健やかで、安心・安全に暮らせるまちとなるよう、全力で取り組んでまいります。

町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年は午年であり、皆様にとりまして、元気に駆け抜けることができる、素晴らしい一年となりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

ています。国においては、「強い経済」を実現する総合経済対策が予算化され、地域の実情にあった生活者支援や事業者支援を行うこととされました。

本町においては、町民の皆さんの生活支援として、いち早く支援を届けるため、電子地域通貨「いっちゃんPAY」を活用して1人あたり1万5千円分の「生活応援ポイント」を付与することとしました。

なお、本年1月より順次、Aコープの各店舗で「いっちゃんPAY」が使用できるようになる予定であり、食料品や日用品の購入においても、今後利便性が高まるものと考えています。

また、事業者の皆様への支援としては、飯南町商工会にもご協力いただき、商工業者への応援金を支給するほか、医療・福祉・介護事業者へも同様の支援を行うこととして

飯南町長
塚原 隆昭



**古布が生まれ変わる
裂き織りを楽しむ**

中央図書館主催の図書館趣味講座「裂き織りを楽しむ」が開催されました。

講師の山本かおりさん(志津見)に手順を教してもらいながら、細かく裂いた布を横糸として織り込む「裂き織り」に挑戦。参加者は手のひらほどの大きさの布を織り、コースターを作成しました。着物やウールのストールなど、横糸に織り込む布の素材や模様によって、ユニークな布が織り上がる裂き織り。参加者はお互いの作品の風合いを比べながら、裂き織りの魅力を楽しみました。



好きな色や質感の布を自由に組み合わせます

12.21
日

**大人も思わず夢中に
ミニ四駆をつくらう！**

赤名農村環境改善センターで、赤名公民館主催の「ミニ四駆をつくらう！」が開催されました。

今回のイベントは、赤名公民館で毎年恒例となっている「ものづくり教室」の一つ。11人の参加者は、市販の組み立てキットを使い、細かいパーツを組み合わせることに苦戦しながらも、夢中になりながら完成させていました。

試行錯誤しながら、自分たちの手でものづくりをする楽しさや達成感を学ぶイベントとなりました。



最後にコースを作りミニ四駆を走らせました

12.20
土

区間	選手名	備考
1区	田村 瑞希	飯南高1年
2区	石原 丈	飯南高3年
3区	後長 輝	社会人
4区	関羽 赤来中2年	赤来中2年
5区	松元 咲麗	頓原中2年
6区	山戸 拓郎	専門学生
7区	加藤 郁海	社会人
8区	加治 賢悟	社会人
控	吉川 瑛太	赤来中3年
控	黒角 梨奈	社会人
控	倉橋 惇	社会人
控	下宮 雅行	社会人
控	石原 理子	赤来中1年
控	奥野 颯	赤来中3年



選手、スタッフで記念撮影。お疲れ様でした



力走を見せ、ゴールテープを切る加治さん

12.14
日

**新春のまちを駆け抜ける
元旦マラソン**

公民館主催の「元旦マラソン」が、頓原、志々両地区で開催されました。

頓原地区には約70人、志々地区には約60人が参加。新年の挨拶を交わしたり、今年の抱負を宣言したりしながらスタートの合図を待っていました。

元旦の恒例行事に、参加者は「清々しい気持ちで、新たな一年が始められた」と話しました。

マラソン後、新春トランプ大会(頓原)やお楽しみ抽選会(志々)も開催され、帰省中の親子連れなど多くの参加者で賑わいました。



勢い良くスタートを切りました(頓原)

1.1
木祝

**野球の楽しさを知ってほしい
保育所児童の野球体験会**

町内の保育所で、昨年に続き2回目の飯南高校野球部による「保育所野球体験会」が開催されました。

町内4つの保育所で行われた体験会は、ボールやバットで遊ぶことで、保育所児童に野球に親しんでもらうことを目的に実施。児童は、高校生からキャッチボールや野球ゲームを教わり、初めは道具の使い方に苦戦していましたが、慣れてくると笑顔で楽しむ様子が見られました。

高校生から優しく教わった児童たちは、野球を身近に感じる機会となりました。



投げたボールが的に当たると歓声(桜ヶ台保育所)

12.25
金
1.6
火

**手作りの味に舌鼓
きじま里山講座そば打ち体験**

来島公民館主催の「きじま里山講座そば打ち体験」が開催されました。

子どもから大人まで約20人が参加。講師の中村令さんにコツを教えてもらいながら、参加者はグループごとにそば打ちに挑戦。思いのほか力のいる工程に汗を渗ませていました。

体験後には、自分たちで打ったそばを茹でて試食。初めてそば打ちに挑戦した子どもたちは「平らに伸ばすのが難しかった。おいしくてかわりした」と話しました。



中村さんの手つきに集中して見入る子どもたち

12.20
土

**新年への思いを込めて
ミニ門松づくり**

自宅に飾りやすい小さな門松を作る「ミニ門松づくり」が、谷公民館で開催されました。

高校生など合わせて15人が参加し、斜めに切られた竹筒の中に、黒竹や松、南天、葉ボタンなどを思い思いに飾りつけ。枝の長さや作る人の飾りつけ次第で、個性豊かなミニ門松が完成しました。

新年を迎える準備が整い、参加者は「バランスをとるのが難しかったけどできてよかった。良い年を迎えたい」と話しました。



「この向きがいいかも」などとおしゃべりしながら

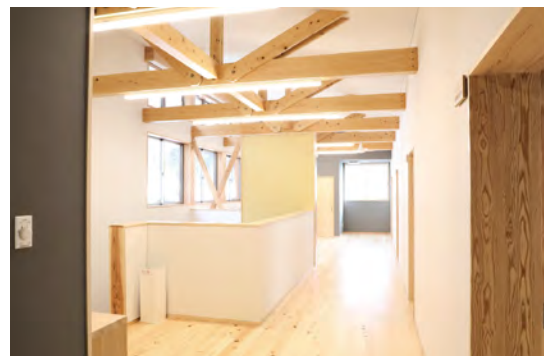
12.20
土



高校生と地域住民との交流が生まれる場所が誕生



住民との交流などに活用できるスペースも



町産材をふんだんに使用したぬくもりを感じる屋内

三日市NODE竣工記念式典

12月22日(月)

飯南高校生の学びと地域の活力が育まれる場として整備を進めてきた「飯南町滞在型地域交流拠点施設(愛称 三日市NODE)」が三日市連坦地内に完成し、竣工記念式典を執り行いました。

式典には、飯南高校魅力化の関係者や建設業者などが出席し、新たな施設の完成を祝いました。併せて内覧会も行い、多数の地域住民が施設内部を見学しました。

令和8年4月から運用し、飯南高校のさらなる魅力向上を図る場として活用していきます。



活発な意見交換が行われました

本町の今後の保育環境を検討する「飯南町保育所あり方検討委員会」の第2回を開催しました。

この委員会は、6月に飯南町社会福祉協議会から提出された要望書に基づき、本町にふさわしい保育環境を検討するために設置。11月に開催した第1回の委員会では、保育士確保が困難であること、児童数の減少、保育施設の老朽化などの現状と課題を説明しました。

今回の委員会では、保育所を取り巻く状況の中で、保育所設置数を優先して協議すべきではないなどの意見が出ました。

保育所あり方検討委員会を実施

12月22日(月)



団長を筆頭に街頭行進

令和8年消防出初式を、頓原地区で開催し、148人の消防団員が出動しました。

屋外行事では、町長に出動人員を報告し、昇格者・任命者に辞令を交付。その後、沿道の皆さんの声援を受けながら、分団ごとに隊列を組み、頓原連坦地を力強く行進しました。

頓原農村環境改善センターみせで行われた式典では、各種表彰などが行われ、深石賢一団長は「団員諸君には防災を意識し、事故や災害のない一年になるようお願いしたい」と訓辞を述べました。

飯南町消防出初式

1月11日(日)

琴引フォレストパークスキー場安全祈願祭

12月16日(火)

まちの観光施設である琴引フォレストパークスキー場で、安全祈願祭が執り行われました。

12月19日(金)の今シーズンの営業開始に合わせて、スキー場の安全な運営を祈願。スキー場を運営する(株)飯南トータルサポートの正木喜代隆代表取締役社長は「いよいよ今シーズン開幕。スタッフ一同、安全第一を目指して運営していきたい」と話しました。

今シーズンから、リフト券がICカードとなり、カードをゲートにかざすと通過できる自動改札式に変更。スムーズなリフトへの乗車が可能となったことで、利便性が向上し、スキー客に安心して楽しんでいただけの環境が整いました。



ICカードをかざすだけでリフトへの乗車が可能に



安全なスキー場運営と多くの来場者を期待し祈願

ふるさとシンポジウムを開催

12月18日(木)



大勢の前で堂々と発表(赤名小)

小中高の児童生徒が飯南町について学んだ成果を発表する「飯南町ふるさとシンポジウム」を来島交流センターで開催しました。

今年度は志々小・赤名小・頓原中・飯南高の代表者が「ふるさと教育」や「生命地域学」で取り組んだ成果を発表し、町長が講評を行いました。発表後は、少人数のグループに分かれ、飯南町の未来や自分たちにできることを話し合いました。

このシンポジウムで児童生徒の交流が深まり、飯南町のことを考えるきっかけとなることを期待しています。



島根県庁で行われた表彰式で知事と記念撮影

統計調査員としての功績により、加藤恭司さん(谷)に知事感謝状が授与されました。

加藤さんは平成12年から10度、統計調査員として各種統計調査に従事。統計調査の重要性を認識し、意欲的な取組姿勢と正確な業務が評価されました。

加藤さんは「感謝状を受け取り大変嬉しく、最初に国勢調査に携わった時を思い出した。地域の皆様のご協力に感謝しています」と話しました。

おめでとうございます 加藤恭司さんに 知事感謝状

12月18日(木)



脱炭素チャレンジインフォメーション vol.7

本町は、令和5年3月に脱炭素のまち宣言を行いました。
町民の皆さんにも取り組んでいただけるよう、定期的に情報をお届けします。

飯南町では太陽光発電の効率が悪いと 思い込んでいませんか？

12月13日に太陽光発電セミナーを開催し、16人が参加されました。

太陽光発電は、雪が降らず日射量の多い地域に適していると思われている方も多いと思います。

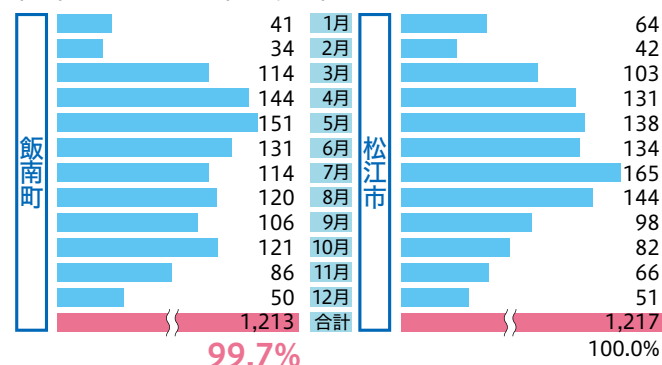
セミナーでは、「なぜ今太陽光発電なのか？」「雪国で設置する場合の注意点」のほか、松江市内での発電量を100%とした場合、飯南町内でも99.7%に相当する電気を発電している事例も紹介されました。(図1)

太陽光発電は、屋根の方角や、影になる障害物の有無等によって発電効率は様々です。電気を使う時間帯や量によっても、効果は大きく異なります。

最大限の効果を発揮させるためには、各ご家庭や事業所に合った検討を行った上での設置がポイントと言えます。



(図1)月ごとの発電量(kWh/kW)



事業所向け補助金情報

島根県では、中小企業の皆さんを対象に導入経費の一部補助しています。

- 太陽光発電設備 補助金:5万円/kW 上限:200万円
- 蓄電池 補助金:1/3 上限:159万円

問い合わせ先

島根県中小企業団体中央会
☎0852-21-4809



補助金の詳細はこちら

令和7年町政座談会「まちの今と、これから」を見る

YouTube飯南町公式チャンネル(<https://x.gd/Mcop2>)からいつでもご覧いただけます。

主な内容

以下の内容について、施政方針や事業の進捗状況をご説明します。

YouTube
飯南町公式
チャンネル



質問・意見への回答

町民の皆さんから寄せられた質問・意見、回答の全文は町ホームページに掲載しています。

質問への
回答ページ



令和7年度 町政 座談会

まちの今と、 これから

今年度の町政座談会は、より多くの方に町政に関する情報をお届けするため、ケーブルテレビ、YouTubeで映像を放送する形式で行いました。放送にあたり、町民の皆さんから寄せられた質問・意見と町の回答の一部を紹介します(Q:質問、A:回答)。

自治・協働

Q 従来通りの対面での座談会開催を希望する。

A 今年度は教育環境基本計画住民説明会も開催したため、映像により町政について説明することとした。町では「まちづくり懇話会」として、町政や事業の推進状況を説明する取組を行っている。「まちづくり懇話会」も活用してほしい。

教育・文化・子育て

Q 頼原に作る予定の子どもの広場について教えてほしい。

A 町内4カ所目となる「こども広場」は道の駅頼原に隣接する「頼原緑地公園」への整備を予定。10月には頼原地区の地域運営組織「住みよい地域頼原会議」から「子ども広場」についての要望書が提出された。要望書を参考に、来年度に整備に着手する予定。

生活・防災

Q デマンドバスは降車場所が事前に設定された停留所に限定されているが、利用者の希望する場所降車できると利便性が高まるのでは。

A デマンドバスは運賃を1乗車300円としており、タクシーより安価に利用できる。利用者が希望する場所で降車できると、町内タ

クシー事業者の経営圧迫につながることも考えられる。

公共交通に係る住民アンケートも頂いており、これらを運行に反映していきたい。

Q 町主催の防災訓練は、実際の災害を想定した訓練を本気ですべきではないか。

A 6月に行った防災訓練は、自治会長・自治会長・組長の方を中心に、避難所開設の基本的な流れを確認することを目的に実施した。避難所運営など実際の災害を想定した防災研修を毎年行っている自治区・自治会にとっては、今回の訓練は不十分と感じられたかもしれない。今後の訓練内容については、皆さまからのご意見を参考に、より実践的な訓練のあり方も検討していきたい。

行政運営

Q 農業関係の補助金について尋ねたい場合、本庁舎まで出向くのは不便。頼原基幹支所にも産業振興課職員を配置し対応してほしい。

A 職員配置については、役場全体として限られた人員でより効率的な配置となるよう努めている。産業振興課は専門的な分野の業務が多く、1人では対応が難しい業務も課全体で対応している。従って頼原基幹支所に職員を配置することは難しい。農業分野においては11月より、担い手支援センター専任職員を配置。町民の方からの問い合わせは、必要に応じ

て、専任職員や担当職員が頼原基幹支所でも対応できるようにしたい。

Q 町長は10、20年先についてどのようなビジョンを持っているか。

A 第3次総合振興計画では、人口目標を総合目標に掲げ「2035年に約3,600人、2045年に約3,200人」を維持していくため、10年後の目指すべき将来像を実現したい。

これまで公約に掲げてきた重点政策「子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)」「安心・安全なまちづくり」「誇れる産業が継続できるまちづくり」「定住を進めるまちづくり」「歴史文化を感じるまちづくり」の政策を拡充し、このまちに住むことを幸せに感じていただけるよう取組を進める。

笑顔あふれるまちづくり懇話会

町では、住民と行政の意見交換の手段の一つとして「笑顔あふれるまちづくり懇話会」を随時開催します。

対象

若者、高齢者団体、地域コミュニティ、学校などどんな団体グループでも対象

詳しくはお問い合わせください。

問合せ まちづくり推進課
☎76-2864



詳しくはこちら

みんなでつくる!

笑顔あふれる飯南暮らし

「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

今回は地域おこし協力隊 食のコーディネーター担当の正戸が、活動をレポート

食の魅力をきっかけに、まちを知ってもらう

島根への移住を検討している人、島根のことが気になっている人たちが来場する「しまね移住フェア」。昨秋、大阪と東京で開催されたフェアでは、飯南町の移住相談ブースの隣で「いいなんマルシェ」を出店。町内事業者の皆さんにご協力いただき、パブリカや舞茸、クロモジ製品など、町内の産物を販売しました。

マルシェに立ち寄った来場者が商品を手取る中で、「飯南町はどんなところ?」「暮らしはどんな感じ?」と移住相談ブースへ足を運び、会話が弾む場面も見られました。中には、今年奉納される出雲大社の大しめ縄の撚り合わせに、強い関心を寄せる人も。食や産物をきっかけに、飯南町の暮らしや文化に触れてもらえる、にぎやかな時間となりました。

こうした出会いをきっかけに、実際に飯南町を訪れてもらえたらうれしいものです。関西や関東に親戚や知人がお住まいの方は、今後、飯南町が出店するイベントがある際には、ぜひ声をかけてみてください。



定住相談員や町職員と一緒にまちの暮らしをお話しました



飯南町の食の魅力を伝えるマルシェを出店

自衛官候補生募集 (陸上・海上・航空)

- 応募資格** 日本国籍を有し、18歳以上33歳未満の人(採用予定月の末日現在)
- 試験種目** 筆記試験、適性検査、口述試験、身体検査、経歴評定
- 試験期日** (筆記試験・適性検査)
※ウェブ試験方式 2月7日(土)
(口述試験・身体検査)2月14日(土)
- 試験会場** 陸上自衛隊出雲駐屯地
- 応募期限** 1月29日(木)

自衛隊奨学生(男女)募集

- 陸上・海上・航空自衛隊の装備品研究開発や、語学・法学分野で活躍する人材養成のため、学資金を貸与します。
- 応募資格** 日本国籍を有し、理学・工学・文学(語学)または法学を専攻している28歳未満の人で卒業後直ちに自衛隊に勤務しようとする人
 - 試験種目** 筆記試験、口述試験、身体検査、適性検査
 - 試験期日** 2月21日(土)
 - 試験会** 全国主要都市
 - 応募期限** 1月30日(金)
- 問合せ** 自衛隊島根地方協力本部
☎0852-21-0015

「農業者年金」加入者募集

- 農業者年金は、農業者の老後の生活の安定などを目的とした、農業者だけが加入できる、積立方式の「農業者のための年金」です。
- 加入要件** ・年間60日以上農業に従事
・国民年金の第1号被保険者
・60歳未満の人
- 農業経営者をはじめ、自分名義の農地を所有していない農業者や、配偶者、後継者など家族農業従事者も加入できます。
- 問合せ** 農業委員会事務局 ☎76-2214

営農と暮らしに役立つ農業専門紙 「全国農業新聞」

- 毎週金曜日発行
 - 購読料 月700円(税・送料込)
- 問合せ** 農業委員会事務局 ☎76-2214

商工業者へ物価高騰等対策 応援金を支給します

- 国の重点支援地方交付金を活用し、物価高騰や最低賃金の上昇等の経費負担増による影響を受けている町内商工業者へ、応援金を支給します。
- 対象者** 次の要件を満たす商工業者が対象です。
(1)町内に主たる事業所を有する中小企業者、個人事業主(町内に主たる事業所を有しない場合でも、常時使用する従業員数が5人以上の商工業者は対象)
(2)確定している直近1年分の売上高(収入)が20万円以上あること
(3)町税等の滞納がないこと
 - ※「飯南町医療・介護・障がい施設物価高騰等対策応援金」対象者は対象外
 - ※農林業、金融・保険業、宗教法人等は対象外
 - 支援金額** 5万円～25万円(常時使用する従業員数で変動)
 - 申請期限** 令和8年3月10日(火)
- 詳しい支援内容はお問い合わせください。
問合せ 飯南町商工会 ☎76-2118



詳しくは
町ホームページへ

くらし・仕事 悩み事出張相談会

- 生活や仕事に関する不安や悩み事の相談を受け、解決に向けた適切なアドバイスや、必要な窓口を紹介します。
- 内容** 【生活】多重債務、子育て、介護、相続問題などの悩み相談
【仕事】雇用全般、パワハラ、残業代未払いなどの悩み相談
 - 日時** 2月10日(火)10時～16時
 - 会場** 中国労金雲南支店3階会議室
雲南市木次町木次468-6
 - 相談料** 無料
- ※会場は駐車場がありません。
申込・問合せ くらしサポートセンター島根
☎0120-969-234
(平日10時～12時/13時～16時)



くらしサポートセンター
島根ホームページ

町立図書館特別休館

- 2月2日(月)から2月6日(金)は蔵書点検のため、中央館・頓原館とも休館します。
- 本の返却は返却ポストを利用してください。
問合せ 飯南町立中央図書館 ☎76-2160

飯南病院 便り



飯南病院精神科
いまおか まさふみ
今岡 雅史

山登りと健康

昨年の十月のことだ。大山に最後の山登りのつもりで出かけた。一人である。最近山行きもしてないし、腰椎のヘルニアもした、体力の衰えの自覚もあった。登高時間も標準時間の倍の五時間を予定した。紅葉前の大山は多くの男女で賑わっていた。足が遅くなって休憩が多くなるが、計画通りに十二時過ぎに山頂に着いた。

下山が大変だった。六合目からの下りには足がでない。五十歩も歩くと足の筋肉は動かない。それで数分休憩するが、岩に腰掛けても全身の筋肉が思うようにバランスをとることができず、仰向けに倒れる。会う人ごとに「大丈夫ですか」と心配される。終に山岳パトロールの若い女の人に杖を借りて夕暮れ近くになるとか登山口に到着した。予想以上に筋肉が乏しくなっていることを身にしてみた。大山並の山は今後無理、と思い定

めた。五十年以上続けてきた趣味の山登りを止めることに寂しさとなにか清々しい気もした。全力で戦って登頂できたのだから。

私は七九歳になった。階段を登るのも気合いがいる。二〇歳頃から始めた山登りはいつの間にか、人も認める私の趣味になっていた。全国の多くの山五百山くらいは登った。夏休みや春の連休や学会の時に登った。所謂「日本百名山」も二十年前に完踏していた。なぜ山登りをするのか?山頂からの眺めが佳い・自分の体力の増進と維持・精神的な好奇心や困難なことをやり遂げる達成感・等の心身の効果はあると思う。尤もそのためにしたのでもない。自分への意地のようなところがある。好きなことをしただけである。しかしそのことは自分にとっては宝物であり絶大な価値がある。他者の評価はどうでもよい。

仕事や家庭生活とは別の自分だけの充実感である。年をとれば体は弱くなり記憶力は低下するが、思い出は老いても褪せない。年をとっても生きるエネルギーにさえなる。

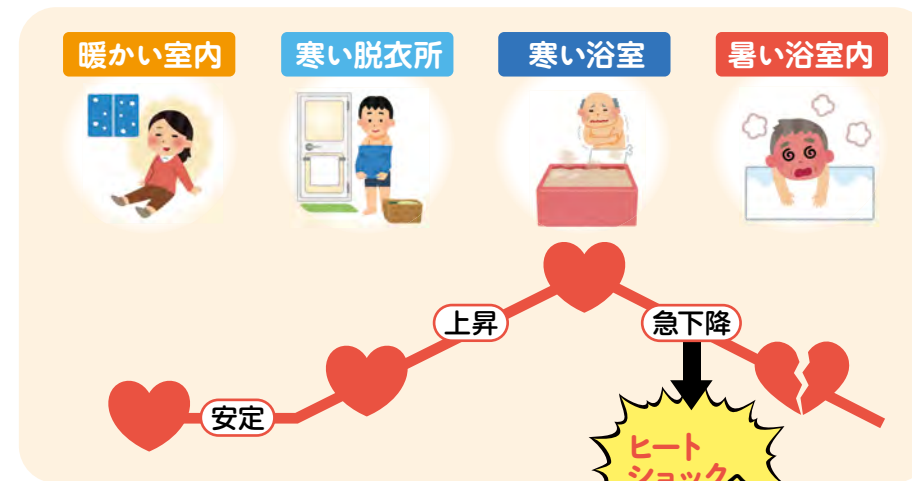
保健福祉センター 便り

ヒートショックにご注意ください

寒い季節はヒートショックが起こりやすくなります。

ヒートショックとは、暖かい場所から寒い場所へ、またはその逆へ移動した時の急激な温度差によって、血圧が大きく変動し、体に強い負担がかかる現象のことを言います。

特に注意が必要なのが寒い時期の入浴。温度差で血圧が急上昇・急下降し、脳や心臓に大きなダメージを与え、命に危険が及ぶこともあります。



ヒートショックを防ぐポイント

- 1 脱衣所を温め、温度差を減らす
- 2 お風呂の温度は38～40℃に
- 3 お風呂から出るときはゆっくりと
- 4 入浴前後は飲酒を控え、水分補給
- 5 入浴前は家族に声をかける
- 6 湯船につかる前に必ずかけ湯(足⇒腹⇒胸)
- 7 浴室に手すりをつけ、転倒予防

寒い季節を安全に、
元気に過ごしましょう!





島根県育英会 大阪学生会館 令和8年度入寮生募集(第2期)

- **募集施設** 学生会館(個室)
- **寮費等**
自室電気料等別で月額56,000円(朝・夕食付)
入寮費12万円か15万円(入寮前納付)
- **募集人員** 10人程度
- **応募資格** 島根県で生活経験があり、大学・短大・大学院・高専(4年生以上)・専修学校(専門課程)に在学中か令和8年度進学希望者
- **受付期限** 3月31日(火)
- **願書提出先** 在学する高校か出身高校
※大学等在学者は島根県育英会
詳細は島根県育英会にお問い合わせください。

問合せ (公財)島根県育英会
☎0852-28-1981



島根県育英会
ホームページ

放送大学4月生募集

- 放送大学は、令和8年4月入学生を募集しています。
- **授業形式**
「BS放送」「インターネットで視聴」「講師から直接受ける授業」の3つの形式があります。
 - **授業内容**
心理学、福祉、経済、歴史、文学、情報、自然科学など300以上の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

全国にミニキャンパスにあたる学習センターが設置されており、サークル活動などの学生交流も行われています。

【入学説明会・相談会(出雲会場)】

- **日時** 2月21日(土) 13時～
- **場所** 出雲中央図書館(出雲市大津町1134)

問合せ 放送大学島根学習センター
☎0852-28-5500

令和7年分申告相談が始まります

所得税の確定申告と町県民税の申告相談を行います。

相談日	受付時間		会 場
	9時～12時	13時～16時	
2月13日(金)	志津見	角井	さつき会館
2月16日(月)	川東	川西	
2月17日(火)	獅子		
2月18日(水)	寺沢	佐見	保健福祉センター (飯南病院横)※1
2月19日(木)	長谷	敷波	
2月20日(金)	都加賀	花栗	
2月24日(火)	奥畑	上区(迫・小才田・泉川)	
2月25日(水)	上区(宇山・小和田)	町区(一番町・社日町・大仙町・上町・中町)	
2月26日(木)	町区(本町・横町・新道町・万対町・恵比須町・寺町)		みんなの広場 来島交流センター
2月27日(金)	下来島(保賀・松本中部)	下来島(松本西部・川尻)	
3月2日(月)	野萱(琴麓・三日市・塚原)	野萱(野萱・野萱団地・下三日市)	
3月3日(火)	小田(奥小田・口小田・中小田)	真木(奥真木)	
3月4日(水)	真木(口真木)	上来島(上来島・安江)	
3月5日(木)	上来島(杉戸・横路)		役場本庁舎 (2階 会議室)
3月6日(金)	谷(井戸谷)	谷(塩谷・畑田)	
3月9日(月)	下赤名(東区)	下赤名(石次・福田)	
3月10日(火)	下赤名(千束・中通)	上赤名(北野)	
3月11日(水)	上赤名(瀬戸)	上赤名(中区)	
3月12日(木)	赤名(上市・衣掛団地)	上赤名(向谷)	
3月13日(金)	赤名(中市・下市)		

※1 頓原地区(2月18日(水)～26日(木))の申告相談は保健福祉センター(飯南病院横)で行いますので、申告会場へお越しの際は会場をお間違えの無いようご注意ください。

マイナンバーカードをご持参ください

確定申告手続きには、「マイナンバーの記載」と「本人確認書類の提示か写しの添付」が必要です。マイナンバーカードの持参で、本人確認(番号確認と身元確認)ができます。

なお、ご自分で電子申告をする際には電子証明書が必要になりますので、有効期限切れにお気をつけください。

●マイナンバーカードがない人は番号と身元が確認できる書類を持参してください

【番号確認書類(次のうち一つ)】

- ・通知カード
- ・住民票の写しか住民票記載事項証明書(マイナンバーの記載があるもの)

【身元確認書類(次のうち一つ)】

- ・運転免許証、公的医療保険の資格確認書、身体障がい者手帳、パスポート、在留カード

問合せ 住民課 ☎76-2213

大東税務署での申告相談

大東税務署での相談には、LINEによる予約または入場整理券が必要です。

不動産の売買・贈与税の申告相談を希望される方は、2月24日から27日の平日にお越しください。

スマートフォンでの確定申告を推奨

確定申告書の作成には、マイナンバーカード、パスワード、スマホが必要です。

問合せ 大東税務署 ☎43-2360

確定申告に使用できる医療費・療養費通知をお送りします

【国民健康保険】

●医療費・療養費(柔道整復のみ)通知

令和8年2月中旬送付

※療養費(柔道整復以外)は領収書を使用してください

問合せ 保健福祉課 ☎72-1770

【後期高齢者医療保険】

●医療費通知

令和8年1月中下旬送付

※令和7年11～12月診療分は領収書を使用してください

●療養費(柔道整復、あん摩マッサージ、はりきゅう)通知

令和8年1月下旬送付(令和6年10月～令和7年5月施術分は、令和7年5月と9月に送付済)

※令和7年10～12月施術分は、領収書を使用してください

問合せ 島根県後期高齢者医療広域連合

☎0852-20-7525

求 人 情 報

無料職業紹介所で受け付けた求人を紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所
(役場まちづくり推進課内)
☎76-2864

※表示のない市外局番は「0854」です

一覧はHPより
ご確認ください



(福)友愛会 72-0214	
看護職員(正社員) 看護師または准看護師 ◎月245,900～263,900円	フル 2人
介護職員(正社員) 未経験者歓迎・介護福祉士有資格者・経験者優遇 ◎月219,000～269,300円	フル 3人
介護職員 未経験者歓迎・介護福祉士有資格者・経験者優遇 ◎時1,100円～	パート 3人

(株)いいなん 72-1080	
バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業 普通自動車運転免許 ◎日8,500円	パート 1人
一般廃棄物受託業務(家庭ごみ収集、分別作業) 普通自動車運転免許 ◎日8,500円～	フルタイム・パート 各1人
バイオマス製造機の製造・農作物栽培作業(正社員) 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎月143,792～167,200円	フル 1人

(株)フーデック(加田の湯内ごんべえ茶屋) 080-2073-8416	
配膳および調理補助 ◎時1,050円	パート 1～2人

(株)一福 72-0006	
ホール業務全般(レジ、接客、洗い場、簡単な仕込み他) 特になし ◎時 平日1,033円 土日祝1,083円	パート 2人

(有)頓原ランドリー 72-0036	
衣類クリーニングの仕上げ・受付 普通自動車運転免許 ◎時1,040円	パート 1人

日本郵便(株)来島・頓原郵便局 76-2300	
郵便業務(郵便物の集配)(正社員登用制度あり) 原付か自動二輪か普通自動車運転免許 ◎時1,140円～	パート 1人
窓口業務(正社員登用制度あり) ◎時1,060円～	パート 1人

飯南町地域づくり協同組合 72-0097	
派遣先により命ぜられた業務(農業・製造業・サービス業等) ◎月180,000～300,000円	フル 2人

放課後子ども教室(教育委員会) 76-3944	
放課後、保護者のお迎えを待つ児童の見守り(宿題等を教える必要はありません) 最初1～3日間程度は、就労体験(賃金あり)が可能 ◎時1,045円	パート 1人

加田の湯 76-3357	
浴室管理、フロント受付、施設内外の掃除、買い出し、配達 特になし(経験者優遇) ◎時1,040円～1,250円	パート 1～2人

レベルアップ講座

先日、森林セラピーガイド向けのレベルアップ講座を開催しました。今回は初めての試みとして「シェアリングネイチャー」という自然体験プログラムを行いました。「シェアリングネイチャー」とは、参加者が「自分も自然の一部である」と実感し、その気づきを互いに分かち合う(シェアする)活動のことです。

講師をお招きしての講座は、ガイドの皆さんにとっても新鮮で楽しい時間となったようです。普段から高い意識をもって活動されているガイドの方々ですが、今回も自然との関わり方や案内の工夫など熱心に話し合っておられました。

最後になってしまいましたが、2026年も飯南町森林セラピー、飯南町観光協会をどうぞよろしくお願い致します。(杉山)



森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

森林セラピー通信

皆さん明けましておめでとうございます。

新年を迎えた飯南町ふるさとの森は静けさに包まれています。

今回は、冬には“白銀の森”とも呼ばれる飯南町ふるさとの森と、レベルアップ講座の様子を紹介します。



白銀の森スノーシュー散策

皆さんは冬の森を歩いたことがありますか？

飯南町ふるさとの森はご存じの通り雪が深く積もるので、歩くとなるとスノーシューが必須。冬はガイドと一緒に、スノーシューを履いて森を散策します。冬の森では普段は見ることのできない動物の痕跡に出会えることも。足跡や糞など、雪がない時期には隠れている動物の痕跡を見つけるのも楽しみの一つです。

飯南町観光協会でもスノーシューのレンタルもできるので、雪のふるさとの森を楽しんでみてください。

こんにちは
中山間地域研究センターです。

スギの受粉と、成長が良く花粉の少ないスギの種子生産の取り組み

●中山間地域研究センター ☎76-2025

<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



写真1 スギ雄花

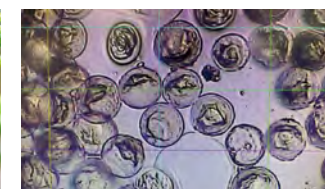


写真2 スギ花粉(90倍)



写真3 スギ雌花と分泌した珠孔液(赤丸)



写真4 人工授粉作業

珠孔液(写真3)とよばれる透明な液体を分泌します。この珠孔液に花粉が付着し、珠孔液ごと花粉が胚珠へ取り込まれることで受粉が成立して充実した種子が作られます。

種子生産の現場では、選抜したスギ特定母樹同士を交配させて種子を生産します。一方のスギから採取した花粉を、人の手で別のスギの開花した雌花へ吹き付ける作業を行います(写真4)。珠孔液は1つの雌花から1週間程度しか出ないため、開花状況や珠孔液の分泌状況を見極めながらタイミングを逃さず授粉作業を行う必要があります。

いよいよ令和8年度から、これらの種子から生産された特定苗木が県内の造林地で植栽されはじめます！

島根県中山間地域研究センター
森林保護育成科 ☎76-3822

短歌

赤名短歌会 十二月例会

ひえびえと霧の流れるこの道を通いし日々は遠くなりけり
縄ないて師と先達の声聴こゆ唯ひたすらに短歌つづけよと
ようこそとアサギマダラを招きたる藤袴笑みてわが里は秋
朝ドラは流し見なれど『ばけけ』のあげそげだんだんつい口に出る
地震火災気候異変に物価高厳しい年の瀬にサロンこそ励み
要約のプレゼンし合う児童らの声の弾みて錦秋の空
車窓より上根峠の分水嶺陰に流るる陽に流るる
うなずきて話に耳を傾ける息子のありて安らぐ夕べ
下校児の元気な笑顔に励まされやかんのお茶飲みまた草を刈る

澤田久美子 清原 豊明 吉川 暎子 星野 敦子 門所 詠子 鳥田 勝信 澤田 勝登 本間 麗子 石田 修司



やすらぎに

12月届出分

お名前 景山 重信 様 (93) 親族 地区 優 (川東)
宮崎スミエ 様 (94) 祥 宣 (谷)
藤原 賢治 様 (88) 篤 (町区)
藤原 冷子 様 (93) 治 (寺沢)
朝日 英夫 様 (78) 啓 介 (上区)
花田エミ子 様 (95) 幸 治 (真木)
井上 美鈴 様 (81) 修 二 (上赤名)
渡り 延枝 様 (93) 丈 人 (町区)
石田 一秀 様 (88) 強 (上赤名)

今の人権標語

令和6年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から

差別なし

平和に創る 未来地図



赤名小学校6年

倉橋 依未さん

家族名直之さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない
明るいまちづくりをめざしましょう。

●2月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頃原・志々	7日(土) 10日(火)
赤 名	21日(土) 25日(水)
来 島	13日(金) 18日(水)

〔クリーン(株) ☎72-1401 (頃原地域)
〔クリーン(株) ☎76-2441 (赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

雲南市 飯南町事務組合 ホームページ



●2月のごみ収集日

収集地区		陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類 収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類 収集日	資源物 収集日
頃原	町区、敷波(古城・稲荷・田鎌下)	9日(月)	24日(火)	18日(水)
	都加賀、奥畑、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田鎌西・田鎌東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・オ谷1・オ谷2)、志津見、角井	10日(火)	25日(水)	
	川東、川西(南)	12日(木)	26日(木)	
赤来	赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	2日(月)	16日(月)	25日(水)
	上赤名、下赤名、谷、上来島(上来島・安江・横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下来島	3日(火)	17日(火)	
	上来島(杉戸)、野萱(塚原・三日市・野萱・下三日市)	4日(水)	18日(水)	

〔いいしクリーンセンター〕☎72-9217

2026

2

まちのスケジュール

📖 教育 + 健康・保健 ☆ 文化・体育 ◆ その他

1 日

2 月

- ◆ 国民健康保険料納期限、後期高齢者医療保険料納期限
- ◆ 町県民税納期限

3 火

- ◆ 飯南スマホ教室(さつき会館)

4 水

- + 健康にいい～にゃん週間(～10日)

5 木

- ◆ 飯南スマホ教室(来島交流センター)

6 金

7 土

- 📖 町内中学校新入生説明会

8 日

9 月

10 火

- ◆ 行政相談(役場本庁舎)
- ◆ 飯南スマホ教室(赤名改善センター)

11 水 建国記念の日

12 木

- + 乳児健診・育児相談(保健福祉センター)
- ◆ 飯南スマホ教室(来島交流センター)

13 金

- ◆ 飯南スマホ教室(交流センターとんぼら)
- 📖 赤名小授業公開日

14 土

15 日

- ◆ しまね家庭の日

16 月

17 火

- + オレンジカフェ(赤名福島邸)

18 水

- + ほっと.Café 食講座【味付けバリエーション】(来島保健センター)

19 木

- ◆ 飯南スマホ教室(来島交流センター)

20 金

- 📖 頓原小学習公開日
- ☆ 歴史文化講演会(みせん)

21 土

22 日

23 月 天皇誕生日

24 火

25 水

- ◆ 図書館健康講座「ii-fitでカラダづくり」(来島保健センター)

26 木

27 金

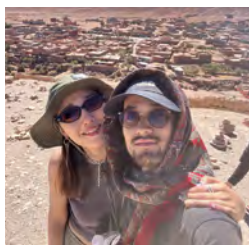
- + オレンジカフェ(つがが工房)
- ◆ はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
- 📖 来島小授業公開日

28 土

- + オレンジカフェ(上赤名会館)
- ◆ そば打ち体験(赤名改善センター)

〈毎週火・水・金曜日〉 + ほっと.Café(来島保健センター)

町の人口 4,247人(前月比-13人) 世帯数1,975戸 R8.1.1 現在



大谷さんの趣味は海外旅行。海外旅行ではサッカー観戦や、日本でまだ販売していないブランドのお店をリサーチに行くことも。海外に目を向ける一方で「まちの今の様子を知ってほしい」と、飯南町が東京で開催するイベントへ来場したり、町SNSもチェックしているそうです。

写真が好きな母親の影響で、20代からカメラを始めた大谷さん。現在は業務として「スエ」のプロモーション撮影

「温泉やスキー場に案内したり。時間がゆっくり流れ、空気も食べ物もいい。東京では体験できない事が身近にあり、友人たちも楽しんでくれます」と大谷さんは微笑みます。

若者を中心に熱狂的なファンが多いファッションブランド「スエ」のアメリカ国外初となる旗艦店「スエ」が「スエ」ここで販売や店舗運営に携わるのが大谷悠人さんの32歳です。

専門学校卒業後、スニーカー販売店に勤務。商品PRやイベントの開催などを経験しました。

現在勤務している「スエ」は、世界的に注目を浴びているブランドとあって、店舗は連日大変な賑わいだといいます。「上京した時は友達が1人もいなかったので、ファッションを通して、多くのつながりや友達ができたことがうれしい」と大谷さん。店舗には著名人やアーティストなども来店し、新たな出会いや、創造力を刺激される環境を楽しんでいます。

「ルーツいいなん」54

このまちに住んでいようと、なからうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

ファッションでつながる縁



おおたに ゆうと
大谷 悠人

頓原出身、飯南高卒業。専門学校でファッションビジネスを学んだ後、アパレル企業に就職。現在はニューヨーク発のファッションブランド「KITH」に勤務(東京都在住)。

を担当することもあるといいます。知人からの依頼を受け、カメラマンとしてお店やブランドの撮影に携わる機会も増え、活動の幅が広がっています。

東京で充実した生活を送る一方、飯南町の良さや魅力も実感していると大谷さんは話します。東京の友人たちを頓原の実家に招き、まちを案内することもあつて。

「温泉やスキー場に案内したり。時間がゆっくり流れ、空気も食べ物もいい。東京では体験できない事が身近にあり、友人たちも楽しんでくれます」と大谷さんは微笑みます。

今月の表紙

琴引フォレストパークスキースキー場でウィンタースポーツを楽しんでいたのは、インドネシアからの外国人技能実習生として町内で就労している(中央右から)サファさん、フィーナさん、アマリアーさん。雪が降る暮らしを満喫したいと、毎年スキーやスノーボードに挑戦しているそう。

ゲレンデで出会った町内の子どもたちとも言葉を交わしながら、冬の日を楽しんでいました。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ